



シリーズ 市民の声 ③③

【問合せ】秘書広報課

☎ 773-6658

共通シーズン券について

【意見・提案など】

スキー場がオープンしました。スポーツ都市といえながら、全スキー場のシーズン券（市内全スキー場の共通シーズン券の意か）が買えるようになってない。湯沢町のようにできないでしょうか。

（平成29年12月）

【市からの返事】

市では、市内スキー場経営者のご理解のもと、青少年の健全育成や索道事業者の社会貢献を目的に、小中学校や高等学校に通学する児童・生徒とその保護者、勤務する教員や指導者に共通リフト券（シーズン券）を発行しています。「高齢者や一般市民にも低額料金で共通リフト券（シーズン券）を発行していただきたい」と以前からお願ひしていますが、「スキー場経営はリフト券の売上げで成り立っている」として、実現には至って

ていません。

全国のスキー場では、バブル崩壊後の来場者数が半分以下（当市では2割〜3割）となり、地域活力の低下にもつながっています。各種調査機関の調査によれば、

スキーのような特殊なスポーツ（限られた季節、場所しかできない、用具が高価）は、幼少期に体験したかどうかで、成人後、そのスポーツを再度行うかどうかが決まるという結果が出ています。その観点からすれば、主として「主に小中学校や高等学校に通学する児童・生徒」に共通リフト券（シーズン券）を発行することは、有効な施策であると考えます。

なお、市内の各スキー場では、施設利用券付リフト券、早割リフト券などさまざまな割引券やシーズン券を販売していますので、これらをご利用ください。

（担当：商工観光課）

補足

市内スキー場共通リフト乗車券は、今シーズンから小・中学生の両親のほか、同居所に住む祖父母も購入できます。詳しくは、市報平成30年12月15日号1ページをご覧ください。

News Plaza

みなみうおぬまニュースプラザ

11月28日(水) ジュニア選手育成と情報発信に関する協定を締結しました

一般社団法人オールビレックスと「ジュニア選手育成と情報発信に関する協定」を締結しました。この協定は、市が所有する施設をオールビレックスジュニア選手の育成のために有効活用してもらい、オールビレックスにはマスメディアに対して市の情報を積極的に発信してもらうなど相互に協力することを目的としています。

オールビレックスの菅野文宣代表理事は「冬季オリンピックなどに出場できるようなトップ選手の育成だけでなく、ウィンタースポーツの普及活動なども南魚沼市とともに進め、スポーツを盛り上げていきたい」と、あいさつを述べました。



11月28日(水) 平成30年度 南魚沼市除雪車出動式が開催されました

南魚沼市防災広場を会場に、除雪車の出動式と安全祈願祭が行われました。南魚沼市除雪企業体連絡協議会が主体となり開催したもので、市長、議長、警察署長、除雪に携わる42業者が参加し、貸与車両の鍵の引き渡しや安全祈願祭などが行われました。

林市長は、「先日、新聞に5歳の女の子が除雪車や除雪作業を楽しむにしているという記事がありました。いろいろな意味で、除雪に対する市民の期待は大きいと思います。期待に応えるためにも事故には十分注意し、無事に冬を乗り越えていただきたい」と、あいさつしました。

